

# 南相馬市駐在レポート

## 第2号

平成27年7月  
福島県教育庁文化財課南相馬市駐在

### 1. 本格的な調査始動へ

福島県もいよいよ梅雨入りです。文化財課南相馬市駐在では、東日本大震災の復旧・復興関係の開発事業に係る埋蔵文化財の保護業務を行っていますが、業務も本格的に軌道に乗ってきました。今回は、①分布調査、②試掘・確認調査、③市町村支援調査について近況をご紹介します。

### 2. 分布調査

分布調査は、まず開発が予定されている場所が、すでに知られている遺跡(周知の埋蔵文化財包蔵地)であるかどうか、「遺跡地図」で調べます。周知の遺跡でない場合、現地で本当に土器や石器などが拾えないかどうか踏査します。今年度はこれまでに南相馬市鹿島区・小高区、浪江町のほ場整備・海岸防災林造成予定地などの分布調査を行いました。



低地部で縄文時代晩期(約3,000年前)の貝塚発見!まさか、こんな場所に、職員一同驚きました(南相馬市小高区・井田川地区)



縄文土器(晩期)、サルボウ、マガキ、オオノガイ。数は少ないですが多種の貝がありました(同左)

### 3. 試掘・確認調査

試掘・確認調査は、遺跡の内容や範囲を確認するため、基本幅2m、長さ10mの長方形の穴「トレンチ」を設定し、地面を掘り下げて調べます。これまでに南相馬市鹿島区・原町区・小高区のほ場整備・海岸防災林・道路整備事業予定地などの調査を行っています。



トレンチ内で遺構の検出作業を行っています。さて、何か発見はあるか?(南相馬市原町区・辻内)



平安時代の土器がみつかりました。職員は満面の笑みを浮かべています!(同左)



古代の竪穴住居跡が発見されました（南相馬市原町区・五畝田 B 遺跡）



詳しく調査をすると、なんと土器が2個体並んで見つかりました！（同左）

事業者と遺跡の保護について協議を行っています（南相馬市鹿島区・小島田遺跡） →



#### 4. 市町村支援調査 やなぎまち ー柳町Ⅱ遺跡の調査ー

南相馬市駐在では、東日本大震災復旧・復興関係の市町村の埋蔵文化財保護事業への支援も行っています。4月から6月まで、広野町の駅東側整備事業に伴い1,300㎡の本発掘調査の支援を行いました。調査の結果、縄文時代早期後半から前期初め頃（約6,500～7,000年前）の集落跡であることがわかり、竪穴住居跡6軒、縄文土器、石器など数多く見つかりました。一般的な縄文時代早期の集落跡は山奥や丘陵上に多く見られますが、柳町Ⅱ遺跡は海に近く、平坦な場所に営まれていること、盛んに石器作りが行われていることなどがわかる貴重な発見でした。

6月20日（土）に現地説明会が行われ、約60名の参加がありました。



縄文時代早期後半（約 6,500～7,000 年前）の竪穴住居跡の調査の様子（広野町・柳町Ⅱ遺跡）



現地説明会の様子。竪穴住居跡の説明を行っています（右端が南相馬市駐在の支援職員）